



- ❖ 2009年11月25日(水)～11月28日(土)、中国北京展覽館会場にてBCEIA 2009(第十三回北京分析測試學術報告会及び展示会)が開催され、オリックスレンテック本社側と中国現地子会社、欧力士科技租賃(天津)有限公司も一緒に出展致しました。
- ❖ 北京分析測試學術報告会及び展示会は、中国分析測試協会が主催し、中華人民共和國科学技術省に批准され、分析測定器の専門展示会であります。2年毎に開催されていますが、今年は第十三回目の大会となり、国内及び海外から高く評価されています。全体では、321社が出展、様々な分野のお客様が来場され、4日間で前回を上回る通算16,362名も来場がありました。前回に引き続き出展・来場数、出展スペース数ともに過去最高の記録となりました。この結果により、重要な成長市場である新型分析技術機器、バイオテクノロジー、環境分析機器、食品分析機器、ラボテクノロジー分野において、今回の展示会が中国、そしてアジア全体をリードする重要なミーティング・ポイントであることと感じました。今回も業界をリードするグローバル企業が多く参加され、その中に、日本企業の(株)島津製作所、東京理化器械(株)、日本電子(株)、(社)日本分析機器工業会、(株)堀場製作所、日本理学、ジャスコインタナショナル(株)様も出展されました。
- ❖ 中国国内の分析機器市場ではレンタル業務等の拡大可能性の高いマーケットであり、今後中国における環境関連分析、測定器の需要が増加されていると予想され、当社は島津様の排ガス用分析計、堀場様の大気汚染ガス監視モニタ2製品を展示致しました。「中国の環境対応基準もこれから厳しくなりますね」「測定器もレンタルできますか」、新規ご相談のお客様からお立ち寄り頂きまして、数多くのお問い合わせを頂きました。
- ❖ 今回の展示会では、グローバルメーカー以外、販売価格が安く、品質面も良くなっている中国国内メーカー(北京普析通用、吉天儀器、天美科技等)も出展され、市場競争も激しくなっていると感じます。中国政府では2020年までCO2排出量40%～45%を削減する目標の中、これから環境関連基準も厳しく設定されると判断します。上記2点も含めて、ORIXグループとしては、今後引き続き各メーカーと良い提携関係を構築すると同時に、中国の環境対応プロジェクトにも力を入れるべきではないかと感じます。